

第 87 回北摂小児科医会プログラム

日時：2019 年 12 月 7 日（土）15 時 00 分～16 時 50 分

場所：医療法人晋真会 ベリタス病院 5 階 会議室

〒666-0125 兵庫県川西市新田 1-2-23

TEL 072-793-7890（代表）

- * 一般演題 ご発表の先生方へ：1 演題ご発表 7 分・質疑応答 3 分を予定しております。
- * 当日、会費として 1,500 円を頂戴致します。（但し、初期研修医・医学生 等は無料）
- * 同会は、日本医師会生涯教育制度 登録研修（1 単位）として申請しております。
研修単位を必要とされる先生におかれましては、日本医師会生涯教育制度管理システム
の変更により、当日、医籍登録番号のご記入が必要となります。
- * お車でお越しの方は駐車券を受付にご持参ください。無料駐車券をお渡しいたします。

共催：北摂小児科医会

Meiji Seika ファルマ株式会社

第 87 回北摂小児科医会 プログラム

◇ 話題提供 (15:00 ~ 15:10)

「小児用ワクチン クアトロバック、エンセバックについて」

Meiji Seika ファルマ株式会社

◇ 一般演題 I (15:10 ~ 15:40)

座長 井上 岳彦 先生 (ベリタス病院 小児科 部長)

1. 『 当科における不定愁訴の子どもたちの診療の現状と課題について 』

宝塚市立病院小児科¹⁾、日本生命病院小児科²⁾

○多久和麻由子¹⁾、関 万里¹⁾、古賀千穂¹⁾、藤井靖子¹⁾、中長摩利子²⁾

不定愁訴とは「身体的原因が認められないにも関わらず、多彩な身体症状を訴え続ける状態」である。不定愁訴への対応は小児～成人期の心身の健康に通じ、発達や児童精神の専門外来を有さずとも地域の一般病院小児科の取り組む重要な仕事と考える。当科の2016年4月から3年間での不定愁訴の診療の現状について報告する。また、不定愁訴を疑われるも、のちに器質的疾患の診断に至った例についても報告する。

2. 『 麻疹患者と接触し、予防的にγグロブリンを投与した早期乳児の3例 』

箕面市立病院 小児科¹⁾、感染制御部²⁾

○西澤日花里¹⁾、東 純史¹⁾、向井昌史¹⁾、新田統昭¹⁾、長谷川泰浩¹⁾、木島衣理¹⁾、溝口好美¹⁾、四宮 聡²⁾
山本威久¹⁾

当院で2019年1-2月に麻疹患者と接触した3名の早期乳児に予防的γグロブリン投与をおこなった。症例1は日齢80の女児、外来で麻疹患者と接触し4日後にIVIgし発症しなかった。症例2は日齢39の女児、母が麻疹発症し7日後にIMIgしたが発症し外来加療した。症例3は日齢25の男児、母が麻疹発症し7日後にIMIgしたが発症し入院加療を要した。予防的γグロブリンは麻疹発症予防および症状軽症化に有効であり積極的な早期使用が勧められる。

3. 『 MRI にて早期に診断できた化膿性閉鎖筋炎の一例 』

ベリタス病院 小児科¹⁾ 整形外科²⁾

○石井良樹¹⁾、福本晋吾²⁾

症例は10歳男児、野球の試合中に右股関節痛出現、夜にかけ熱発し第2病日当院を受診された。受診後も症状が持続したため、第3病日再診、白血球 14690/ μ l、CRP 8.42 mg/dl、単純 MRI 上右閉鎖筋に炎症所見を認め化膿性閉鎖筋炎と診断、CTX 点滴静注を開始し速やかに改善、第6病日退院となった。発熱を伴う股関節痛の鑑別診断として化膿性閉鎖筋炎を考え、MRI 撮影を行うことが推奨される。

4. 『 ヒトパレコウイルス感染症に伴う急性脳炎の1例 』

大阪市立総合医療センター小児科・集中治療部

○松原康平

症例は1カ月男児。発熱、項部硬直を主訴に急性脳症・脳炎が疑われ当院搬送。来院時、網状チアノーゼと末梢冷感を認めた。入室後、チオペンタールによる中枢神経指向型集中治療を開始するも、けいれんのコントロールに難渋した。MRI 拡散強調画像で脳梁と側脳室周囲白質に高信号を認めた。後にウイルスサーベイランスで血液、髄液、鼻汁、便からヒトパレコウイルス3型が検出された。パレコウイルスによる急性脳炎と診断した。

----- コーヒーブレイク (15:50~16:05) -----

◇ 総会 (16:05 ~ 16:20)

◇ 一般演題Ⅱ (16:20 ~ 16:50)

座長 石井 良樹 先生 (ベリタス病院 小児科)

5. 『 十二指腸が主病変の好酸球性胃腸炎と考えられる1例

—7年間のエコー所見の経過— 』

市立川西病院 小児科

○藤田 博、村松 岳、野間治義、谷本知哉

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の経過中、3才時に嘔吐、ク룹症状の出現がありエコーにて十二指腸球部から下行部に全周性に最大 18mm の壁肥厚がみられた男児を経験した。抗アレルギー薬、ロイコトリエン受容体拮抗薬、H2 ブロッカーなどで加療し壁肥厚は軽減があるが最大部位で 8mm 程度の肥厚が続いている。エコー

上、肥厚は漿膜側が優位と推測され発症後7年間の経過についてエコー所見を主に呈示する。

6. 『 純酸素吸入が有効であった群発頭痛の1例 』

ベリタス病院 小児科

○井上岳彦

群発頭痛は、片側の頭痛と流涙・鼻漏などの自律神経症状を伴うのを特徴とする一次性頭痛である。有病率は0.056%～0.4%程度と比較的少なく、発症年齢は通常20～40歳代と小児では稀である。今回我々は、13歳時に発症した群発頭痛の男児を経験したので報告する。急性期の治療としては純酸素療法が有効で、予防治療としてはベラパミル定期内服が有効であった。

7. 『 著明なAST高値を示した乳児例 』

大阪府済生会千里病院 小児科

○末廣友里 吉田敏子 森本恭子 瀬戸真澄

症例は男児、正期産、産婦人科クリニックで出生。仮死なし。日齢7 新生児黄疸をみとめ、血液検査実施。T-Bil 23.2、AST 889、ALT 18。精査目的で当院受診。全身状態良好、肝脾腫なし。血液生化学検査、ウイルス抗体価、腹部エコー異常なし。母が妊娠前から原因不明のAST高値を指摘されていたことが判明。AST結合性免疫グロブリンが疑われた。児のASTは1歳時に正常化した。AST結合性免疫グロブリンについて文献的考察を加え報告する。

【会場までの案内図】

〒666-0125 兵庫県川西市新田 1-2-23

TEL 072-793-7890 (代表)



公共交通機関にてご来場の場合

◆能勢電鉄 多田駅より 徒歩7分

(駅改札より西方向へ、国道173号線を横断し、そのまま直進)

◆阪急電鉄ご利用の場合

阪急宝塚線にて川西能勢口下車

(急行利用で梅田駅より約20分、宝塚駅より15分)

阪急川西能勢口駅にて能勢電鉄に乗り換え、多田駅下車 (妙見線&日生線 10分)

◆JRご利用の場合

福知山線 (宝塚線) で川西池田駅下車

(快速利用で大阪駅より約20分、尼崎駅より10分)

JR川西池田駅から阪急川西能勢口駅まで徒歩7分

阪急川西能勢口駅より能勢電鉄にて多田駅下車 (妙見線&日生線 約10分)

お車でご来場の場合

国道 173 号線 より 多田駅（能勢電鉄）交差点を西方向（多田神社方面）へ
（西側に『美容院』、東側に『ドコモショップ』が目印です）

約 1～2 分で左手にベリタス病院および第一駐車場、その先すぐ右手に第二駐車場

◆高速道路をご利用の場合

阪神高速（11 号・池田線）で池田木部出口（能勢方面）へ
出口より道なりに国道 173 号線を約 3 キロ北上

◆阪急川西能勢口駅方面よりお越しの場合

川西能勢口駅付近よりお越しの場合は、県道 12 号線を北上
火打 1 丁目の Y 事交差点を右斜め方向へ進み、約 3 キロ直進
（川西警察横を通過し、能勢電鉄踏切を横断&川沿いに北上）
スーパーダイエーの見える T 字交差点（銀橋・鼓が滝）を右折
その後、国道 173 号線を北上

駐車場について

お車は第 2 駐車場をご利用下さい

